

- 問1 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？
- 問2 室町幕府において、将軍を補佐するために置かれた幕府の重要役職を何という？
- 問3 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？
- 問4 世阿弥とともに能楽を大成させた人物であり、世阿弥の父でもあるのは誰？
- 問5 足利義政の後継者争いから京都で勃発した、大規模な内乱は何年？
- 問6 東求堂同仁齋に見られる、畳や床の間、棚などを備えた日本の住宅建築の様式を何という？
- 問7 慈照寺銀閣の東求堂同仁齋に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？
- 問8 東山文化を代表する建築物で、足利義政が京都に建てたものは何？
- 問9 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？
- 問10 室町幕府が、中国の明と行っていた貿易のことを何という？
- 問11 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何といますか？
- 問12 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を何といますか？
- 問13 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？
- 問14 室町幕府の足利尊氏によって京都を追われ、吉野に南朝を開いた天皇は誰？
- 問15 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形環境が重要であった？
- 問16 鎌倉幕府が滅亡した後、天皇中心の政治を再び行おうとして失敗した人物は誰？
- 問17 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？
- 問18 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？
- 問19 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？
- 問20 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？
- 問21 書院造などの様式を取り入れ、現在私たちが生活する住まいの呼び名となっている部屋の種類を何という？

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|-------------|--|
| 問1 | 答え 沖縄本島 | 沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。 |
| 問2 | 答え 管領 | 「管領」は幕府の最高職であり、将軍に代わって政務を取り仕切る重要な役割を担いました。特に力のある有力な守護大名の家柄（斯波、細川、畠山氏など）から選ばれることが多く、幕政の実権を左右する大きな影響力を持っていました。 |
| 問3 | 答え 土倉 | 「土倉（どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。酒屋とともに幕府から営業の認可を得る代わりに税を納めることで、幕府の重要な財源となりました。 |
| 問4 | 答え 観阿弥 | 観阿弥は、独自の工夫を加えて演劇性を高め、息子である世阿弥とともに「能楽」という日本の伝統芸能を大成させました。特に観阿弥の躍動感ある芸風は、義満の絶大な支持を受け、能が武家社会の教養として定着するきっかけとなりました。 |
| 問5 | 答え 1467 | この年（1467年）に、京都を舞台として守護大名同士の激しい武力衝突が始まりました。これにより京都の町は荒廃し、幕府の統治能力は著しく低下しました。幕府の権威を揺るがす大きな出来事となり、日本全国の武士たちを巻き込む戦乱へと発展しました。 |
| 問6 | 答え 書院造 | 書院造は、畳を部屋全体に敷き詰め、床の間や棚、障子、襖などを配置した建築様式です。特に、部屋の中に「書院」と呼ばれる机の役割を果たす窓が設けられたのが最大の特徴です。足利義政の東求堂同仁齋は、この様式を伝える貴重な遺構として知られています。 |
| 問7 | 答え 和室 | 室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁齋という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。 |
| 問8 | 答え 慈照寺銀閣 | 慈照寺銀閣は、北山文化の華やかな金閣とは対照的に、簡素で落ち着いた美しさの特徴です。この建物には、畳や床の間、障子などを備えた書院造という新しい部屋の様式が取り入れられました。 |
| 問9 | 答え 鹿苑寺金閣 | 鹿苑寺金閣は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。2層と3層に金箔が貼られており、池に映る姿は室町文化の豪華さを象徴しています。 |
| 問10 | 答え 勘合貿易 | 勘合貿易は、倭寇の取り締まりを条件に明との間で行われた公貿易です。幕府や一部の大名が主導し、銅銭や絹、美術品などを輸入しました。これにより莫大な富を得た幕府は、室町文化の発展を支えることになりました。 |
| 問11 | 答え 中継貿易 | 琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。 |
| 問12 | 答え 中継貿易 | 中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。例えば、日本の銀や工芸品を中国へ運び、中国の絹織物や陶磁器を東南アジアへ運ぶといった具合に、仲介によって大きな利益を得ました。 |
| 問13 | 答え 足利義政 | 足利義政は京都の東山に山荘（現在の慈照寺）を建て、そこを拠点に水墨画、茶の湯、華道などを愛好しました。この時期に醸成された文化は、簡素で気品のある「わび・さび」の精神を重んじる東山文化として完成されました。 |
| 問14 | 答え 後醍醐天皇 | 武士の支持を失った後醍醐天皇は、足利尊氏と対立して京都を追われました。尊氏が京都に別の天皇を立てると、自らは奈良の吉野へ逃れ、そこで南朝を開きました。これ以降、京都の北朝と吉野の南朝が並立する動乱の時代が始まりました。 |
| 問15 | 答え 峻険な山々 | 吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。この地形は、大規模な軍勢による攻撃を困難にしました。そのため、南朝は少ない兵力でも長期的に拠点を維持することが可能となりました。 |
| 問16 | 答え 後醍醐天皇 | 後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、天皇が権力を集中させる「建武の新政」を開始しましたが、武士の利益を無視した政策が多く、武士たちの反発を招きました。 |
| 問17 | 答え 合い札 | 勘合符とは、明の皇帝が発行した証明書で、半分に割った「合い札」という形式をとっていました。日本からの使節団が到着した際、明側が持つ半分と突き合わせ、一致すれば貿易が許可されました。これにより、幕府の許可を得た船であることが証明され、安全な交易が可能となりました。 |
| 問18 | 答え 枯山水 | 枯山水は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。見る人の想像力に訴えかける「わび・さび」の精神が重視されました。 |
| 問19 | 答え 下剋上 | 「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。 |
| 問20 | 答え 宋銭 | 宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。 |
| 問21 | 答え 和室 | 和室は、床の間という芸術品を飾る空間や、畳という天然素材の床材を備えた部屋です。室町時代に成立した様式がベースとなっており、その後、江戸時代などを通じて人々の生活様式に適したものと変化していきました。現在においても、伝統的な生活空間として多くの家に親しまれています。 |